

平成 30 年 4 月 2 日

平成 30 年度 入社式社長訓示

株式会社 熊 谷 組  
取締役社長 櫻野 泰則

新入社員のみなさん、入社おめでとうございます。

大変長い期間に及ぶ就職活動を乗り越えて、数あるゼネコンの中からこの熊谷組を選択されたこと、大変うれしく思います。また我々一同、皆さんを迎え入れ、そして一緒に仕事ができることを大変楽しみにしております。

さて、熊谷組は今年創業 120 年を迎えました。1898 年の創業以来、当社は建設事業を通して、広く社会の発展に貢献してきました。創業 100 年を超える企業はわずか 2% しかないと言われていますが、それほど長い年月にわたって会社を支えてきたものは、まさに“熊谷組の社員”であり、その社員たちの“誠実さ”と“挑戦心”でありました。

皆さんは今日から熊谷組の一員となられるわけですが、歴史と伝統ある会社に入社されたことを大いに誇りに思い、是非とも熊谷組の良き風土とスピリットを受け継いでいてもらいたいと思います。

皆さんも就職活動の際に研究されたかと思いますが、昨今の建設業界は、堅調な景気に支えられ、加えてオリンピック開催に向けた様々な経済効果の影響もあり、事業環境は良好な状況にあります。一方で、「担い手不足」という構造的な課題に直面しており、「働き方改革・生産性の向上にむけた取り組み」が急務となっています。また、オリンピック後に予想される市場の量的変化・質的变化への備えもしっかりとしておくことが必要です。

熊谷組グループでは、一昨年、グループが目指す企業像を定め、「高める、つくる、そして、支える。」をスローガンとして、「建設工事請負事業の維持・拡大」「新たな事業の創出」そして「他社との戦略的連携」の 3 つの戦略を柱とした中長期の経営方針を定め、先週、これから 3 年間の中期経営計画を発表しました。会社がどんなことをして、どう成長しようとしているのかを対外的に示したものです。皆さんには、すぐに理解することは難しいかもしれませんが、これからいろいろな機会で見や耳にすることもあるかと思いますが、チームの一員として一度目をとおしてみてください。

熊谷組は、持続的な成長を続けながら“自然と調和のとれた人間活動の場”を構築し社会に貢献していくという使命を担っています。そのためには、「熊谷組はさすがだ」と評価してもらい、存在感を認めてもらう必要があります。熊谷組の社員も同じです。皆さんには是非とも“常に自己の成長を目指し、社内で存在感のある社員”になってもらいたいと思います。

最後に、これから約1か月間にわたる研修が始まります。しっかりと学んでください。そしてこれから一生の宝となる同期の仲間をたくさん作ってください。  
熊谷組の新しい歴史のページをともに創っていきましょう。

以 上